

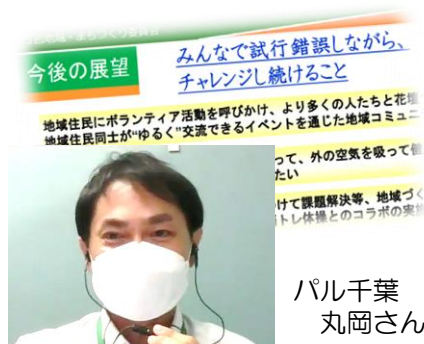


第3回地域・まちづくり委員会を開催しました！

10月5日（木）に第3回地域・まちづくり委員会を開催しました。本委員会では、地域の課題解決に取り組む団体の活動や、千葉県の地域づくりの方針、また他県連の取り組みなどを2年にわたり学習してきました。今回は、各生協が地域や他団体、行政などと一緒におこなっている、地域づくりの事例を報告してもらいました。

○パルシステム千葉

「フードバンクちば」の隣にある「花の駅そが」を利用した「SDGsを活かした地域コミュニティづくり」の活動が始まりました。2021年4月より、「フードバンクちば」「ワーカーズコープ」「淑徳大学」「パル千葉」の4団体で、活動について検討を始めました。CO・OP共済ささえあい助成金を活用し、1年目はコミュニティガーデンづくりをおこない、敷地の広さを有効に活用できる歩く健康体操「歩活」を実施した。また、淑徳大学の学生さんは、「消費者問題学習会」を開催しました。地域へはチラシを作成し、講座開催などをの周知しました。また今年9月には地域への浸透を目的とした「わくわく体験まちづくり」のイベントを連携団体と開催し、大変盛り上がりました。開催することで、良かったことや今後の課題もわかり、地域の人々を巻き込んで、継続して活動ができるようにしていきます。



パル千葉
丸岡さん

○コープみらい

地域や団体が大きく関わる地域のブロック委員は職員ではなく、地域の組合員です。ブロック委員による多様な参加の場づくりは、多様な人と人との出会いにより、豊かな地域づくりをすることに繋がっています。そしてこの繋がりが網の目の様に広がって行くことを大切に活動しています（参加とネットワークの活動）。「参加とネットワークの活動」の方針に基づき、県内6つのブ



みらい 本間さん

ロックでは、地域の課題や時代のニーズ、社会の変化に合わせて取り組みをすすめています。地域の居場所づくり、食や食品、くらしを介した様々な活動は、地

域の人々や団体、また行政などと繋がることで誰一人取り残さない社会の実現をめざしています。

○生活クラブ千葉

印西市木刈にあるデポ-木刈のリニューアルに合わせてデポ-内にコミュニティスペースを開設し、その有効活用と街の縁側活動が合致し、「地域共生社会実現に向けた地域づくり～街の縁側づくり～」の実行委員会を立ち上げ活動を始めました。地域の特徴やニーズをつかむため、コミュニティデザインの手法を取り入れ、ヒアリング、ワークショップを行いながら地域住民が主体となるよう、ゆっくりと丁寧にすすめていきました。9月30日の地域（子ども）食堂から「街の縁側」活動がスタートしました。



生活クラブ
田端さん



○なのはな生協

現在成田市加良部地区のショッピングセンター内で開催している子ども食堂からべえは、こどもは無料、大人は300円で利用することができます。月2回の開催ですが、地域に浸透してきていることもあり、毎回100名程度の利用者がいます。9月24日の台風時の開催でもやはり100名近い利用者が来ました。このほか9月10日には60世帯に食材の配布を実施をしました。食材に使う豚肉は毎回地元の精肉店が6kg提供してくれています。このほか、ゲノム編集トマトの苗木の教育機関への無償提供計画の撤回の取り組みは本来は地域とともに反対の声を挙げていかなければならないと思っています。各学校へも受け取らないよう署名を集め、要望書を提出していきます。



なのはな 山田さん

○ちば住宅コープ

一社) まちかど防災『減災塾』とタイアップして、防災、減災について地域住民に寄与していこうという取り組みを始めました。具体的にはマンションの中庭の有効活用方法の相談があり、災害時にも役立つ中庭づくりなどを減災塾とともに提案していくところです。このように防災減災をキーワードにタイアップできたらと思っています。



住宅コープ 高橋さん



2. 今後の開催について

第4回 2022年12月19日 13:30～

第5回 2023年3月31日 10:00

参加者のみなさん

以上